

県内部活、団体に4373万円

伊藤青少年育成奨学会が助成

公益財団法人伊藤青少年育成奨学会(多治見市)は本年度、高校などのクラブや地域振興に携わる団体の



田代久美子理事長から目録を受け取る代表者＝可児市大森奥洞、嫩葉舎

活動に対し、計4373万円の助成を行うことを決めた。贈呈式が7日、可児市大森奥洞のバローホールディングス人材開発センター「嫩葉舎」であり、田代久美子理事長が代表者に目録を手渡した。

助成先はクラブ活動が31校の42クラブ(運動21、文化系21)に計2869万円、地域振興団体が16団体に計1504万円。応募のあった53校の113クラブと35団体の中から選ばれた。式には助成を受ける高校や団体などから59人が出席。選考委員長を務めた長谷川佳子理事が「応募は昨年度を上回り、全体的に高価値で有意義な申請が多かった。心身共に豊かな次

代を担う青少年の育成を重視した」と説明し「国内外の状況が変化する中、高い志と広い視野を持って潮流に対応して」と期待を示した。

助成金で稽古に必要な鉄砲柱などを整備する岐阜農林高校相撲部の廣瀬大和顧問、乗用馬を導入する大垣養老高校農業研究部(動物班馬部)の三輪嘉文顧問、ダブルスカル艇を購入するぎふジュニアボートクラブの横山厚志代表が田代理事長から目録を受け取った。

来賓の県教育委員会の中川敬三教育次長が「多額の支援に感謝します」とあいさつ。三輪顧問は、厩務員を志す馬部の生徒が「夢の実現に向け、今を全力で生きる」と決意をしたため感謝の手紙を読み上げた。

奨学会はバローHDの創業者故伊藤喜美氏が私財を

投じて設立。助成は青少年の健全育成と地域社会の振興を目的に2000年度から原則毎年実施している。

(小森直人)

助成先は次の通り。

【高校等クラブ活動】揖斐特別支援学校スポーツ部、恵那高科学部、大垣工高情報技術部・電子機械部、大垣商高体操部・フープロ部、大垣西高バドミントン部・和太鼓部(炎舞隊)、大垣養老高陸上競技部・農業研究部(動物班馬部)・食品科学科有志グループイノベーション、各務原高ラグビー部、可児工高機械システム部、華陽フロンティア高バドミントン部、岐阜高水泳部・自然科学部生物班、岐阜工高ボクシング部、岐阜商高バスケットボール部、市岐阜商高陸上競技部、岐阜清流高特別支援学校卓球部、岐阜総合学園高書道部、岐阜第一高自転車競技部・女子ラグビー部、岐阜農林高相撲部、郡上高

陸上競技部、郡上北高食品ロス減らし隊、済美高陸上部、関商工高バトントウリング部・機械部・電子機械部、高山工高スキー部、多治見高科学部・書道部、多治見北高軟式野球部、多治見工高弓道部・機械工学研究部、東濃実高吹奏楽部、土岐紅陵高ウエイトリフティング部、中津川工高吹奏楽部、長良高演劇部、斐太高軽音楽部、八百津高自然科学部

【地域振興活動】美濃陶芸協会、県ハンドボール協会、いわむら一斎塾、第73回全国高校ス皮ードスケート競技選手権大会県実行委員会、県水泳連盟、恵那市国際交流協会、高山市剣道会、中津川ジュニアカヌークラブ、恵那高創立100周年記念事業実行委員会、岐阜シャイン、可児市弓道協会、ぎふジュニアボートクラブ、多治見ジュニアバレーボールクラブ、恵那西中ブラスバンドクラブ、山岡道場、iGEM Gifu(アイジエムギフ)岐阜大サークル